



# 『道南小だより』

令和6年8月27日

## 9月行事予定表

日	曜	主要行事
1	日	
2	月	【特別校時】 脊柱側弯症検診5年
3	火	給食開始 避難訓練〔洪水〕 二計測5年
4	水	二計測4年
5	木	読書タイム 二計測3年 林間学舎前検診5年
6	金	二計測2年 委員会活動
7	土	土曜参観 地区防災訓練 6年 引き渡し訓練
8	日	
9	月	土曜参観代休
10	火	児童朝会 二計測1年
11	水	色覚検査 1年
12	木	読書朝会 尿検査1次
13	金	クラブ活動 尿検査1次
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	
18	水	
19	木	読書タイム 5年林間学舎(1日目) げんき広場
20	金	運動会練習開始 5年林間学舎(2日目)
21	土	市連P教育講演会
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	児童朝会
25	水	
26	木	読書朝会 げんき広場
27	金	運動会係活動
28	土	
29	日	
30	月	
備考	【10月の主な行事】	
	2日(水)尿検査2次 17日(木)尿検査2次予備日 20日(日)運動会(21日(月)代休)23日(水)4時間授業 24日(木)運動会予備日4時間授業(給食なし) ※あくまでも予定ですので、変更になる場合もあります。	

学校徴収諸費の引き落とし日は、9月9日(月)、18日(水)になります。

### 子どもたちの成長が楽しみな2学期

道明寺南小学校校長 重尾 隆之

長かった夏休みが終わり、子どもたちが元気に登校してきてくれました。夏休みの間に、興味のある事に取り組んだこと、普段なかなか経験できないことに挑戦したこと、心に残った大切な思い出などを、久しぶりに会う友達と楽しく話してくれたのではないかと思います。

今年の夏は、体温を超える厳しい暑さによる熱中症や、大雨による災害、九州の日向灘の地震に関連して南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、自然災害の報道が多く聞かれました。幸い本校では特に大きな事故の連絡はありませんでしたが、「災害に対する普段からの備えの重要性」を改めて考えさせられる夏となりました。

9月7日(土)の参観では、6年生が、1・2時間目に地域の方々と一緒に、水害の際の防災訓練を行います。また、4時間目には、全学年で在校中に震度5弱以上の地震が発生した際の、児童の引き渡し訓練を行う予定です。保護者、地域の方々と協力して、地震、水害等の災害についての学習や防災訓練にも力を入れ、自助、共助の出来る子どもたちを

育てていきたいと思っています。

さて、2学期は、運動会をはじめ、林間学舎、修学旅行、校外学習など様々な行事や取組みを予定しています。子どもたちが、それぞれ主体的に目標を持って取り組み、自分の内面を成長させたり、取組の中で気持ちをつなげて、誰もが安心して活動できる集団を作ったりして、大きく成長していきたくらいと思っています。

保護者の方々や地域の方々に、子どもたちが活き活きと学習する姿を見ていただき、子どもたちの成長を共に喜び合うことができればと思います。

今後とも本校の教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### “ふわふわ言葉”があふれる学校に

道明寺南小学校 人権教育部

上手くいかなかったり、思い通りにいかなかったりすると、イライラしてつい心無い言葉をいってしまうことはないですか？その心無い言葉で心が傷つくと、目に見えている傷とは違って、なかなか治らない、もしくは、一生の傷になってしまうこともあります。

そんな目に見えない心の傷を抱えて過ごすことがないよう今年度、「みんなが安心して過ごせる学校づくりを」ということで、委員会活動、児童会活動などが中心となって学校づくりをすすめてきました。



その中で、子どもたちからの意見をきっかけに“ふわふわ言葉運動”をスタートしました。

- ①全学級で“ふわふわ言葉”について学習し、意識を高める。
- ②朝会でも、絵本を用いて全校に活動の意義を広める。
- ③各委員会の委員長・副委員長が中心となって、さらに浸透するような取り組みをする。

例)放送委員が朝の放送でアナウンスする。等

まだまだ、進行中ですが教師からではなく、子ども発信でこの取り組みが進められていることにとっても意義を感じています。

具体的な取り組みとして、毎週火曜日はさらにふわふわ言葉を増やすために、“ふわふわことばデー”として、各教室や廊下にポスターを掲示して啓発運動をしています。



その成果もあって、1学期末につれて子どもたちの言葉に少しずつ変化が現れだしているように感じています。

そこで、この取り組みをさらに意義あるものにするために、お家の方にも是非家庭で実践していただきたいと思っています。

この取り組みをするにあたって、我々教員も大事にしていることは、腹が立つ気持ちやイライラする気持ちは否定しないということです。どんな感情もとても大事な気持ちの一つで、その人のエネルギーとなるものなので、そこは大事にしつつも正しく表現できるように指導をしています。

子どもたちは語彙力がまだまだ乏しく、表現の仕方がわからないため、つい暴言につながってしまっていますが、気持ちを抑えたり、言葉を我慢したりするのではなく、正しい言葉や気持ちの表現の仕方を根気よく具体的に伝えていくことを意識していきたいと思っています。

家庭でも我々教員と同じ気持ちで子どもたちに声掛けしていただけるととてもありがたいです。“ふわふわ言葉”があふれる学校をめざして、共に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

※こんな言葉は、どう変換するとふわふわ言葉になるでしょう？

